

2025

九芸サマースクール 開催要項



2025 KYUGEI SUMMER SCHOOL

お問い合わせ ※ご不明な点は下記までお問い合わせください。

九州産業大学芸術学部事務室

Email: art-ksu@ml.kyusan-u.ac.jp / TEL: 092-673-5700



2025 九芸サマースクール

目次

1. 2025九芸サマースクール開催要項	2
2. 開催講座概要	4
① 平面構成（担当：石橋 佑一郎）	5
② 立体構成（担当：栗田 融）	5
③ 『私を探して』 デジタルラボで フォトコラージュによる大判ポスターを作ってみよう。（担当：西川 洋一郎）	6
④ 写真展を作るワークショップ（担当：大日方 欣一）	6
⑤ モーショングラフィックスを作ろう（担当：佐藤 慈）	7
⑥ 食品を美味しくように魅せる食品容器の開発を体験しよう（担当：佐藤 昭則）	7
⑦ 誘導案内のしくみを考える企画デザイン（担当：岩田 敦之）	8
3. 九州産業大学アクセス方法・学内地図	9

※天候等の影響により、変更または中止する場合があります。詳しくは本学ホームページよりご確認ください。
www.kyusan-u.ac.jp

2025 九芸サマースクール開催要項

九州産業大学 芸術学部では、芸術の魅力を若い世代に伝えるため、高校生を対象とした夏季集中講座『2025 九芸サマースクール』を開講いたします。

講座は本学芸術学部の5学科・10専攻の専門分野の中から7講座を開講し、芸術学部の専門的な施設を利用し、2日間かけて完成度の高い作品を制作します。

高校生の新たな可能性を引き出すことを目的とし、様々な芸術表現の講座を体験していただきます。本講座は、芸術分野の多様な表現と大学での芸術の学びを知り、『芸術系』に対する興味を深めていくことができる講座となっています。

※九芸サマースクールは総合型選抜育成型入試の育成プログラムに含まれます。本講座を受講し、総合型選抜育成型入試を受験する受験生は、本学入試ガイドをご参照ください。(次ページ参照)

- 1.開催日

2025年8月4日(月)、5日(火) の2日間
- 2.対象

高校生
- 3.参加費

無料
- 4.開催時間

9:00～14:30 (10:30から10分休憩、12:10～13:00昼休みを含む)

1時限目 9:00～10:30 → 10分休憩

2時限目 10:40～12:10 → 13:00まで昼休み ※昼食は各自持参。

3時限目 13:00～14:30

- 5.集合場所(初日のみ)

九州産業大学 芸術学部 15号館 2階 15201教室 9:00集合 (P9参照)

- 6.申込方法

ネットでのお申込みのみ受付

右のQRコードからエントリーフォームにアクセスし、お申込みください。

●申込締切 7月21日(月・祝)

※完全事前予約制。当日参加はご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

確定した方には、講座1週間前に九州産業大学 芸術学部事務室より、改めて詳細のメールをお送りいたします。

※ご登録される際、メールアドレスの入力に間違いがないよう、ご確認をお願い致します。

※迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、申込完了通知メールが受信できない事がございますので申し込み前に受信設定を行ってください。
- 

- 7.講座について

P4～P8の7講座を開講します。

講座の詳細については講座概要をご確認ください。

- 8.講座の定員について

各講座とも定員を設けています。(シラバスの講座名の欄に定員を記載)

定員をオーバーした場合は、第2希望に変更していただく場合がございますので、必ず申込書に第2希望をご記入ください。

尚、定員は先着順で決定します。

※第1希望に添えない場合は、必ず確認のご連絡をいたします。

2025 KYUGEI SUMMER SCHOOL

本サマースクールは、総合型選抜試験「育成型」の出願資格、本学が指定する『育成プログラム』に該当します。(芸術学部のみ)

(注) 総合型選抜試験「育成型」に出願を希望する者は、サマースクール受講後にレポートの提出が必要です。

※レポート用紙は、本学入試情報のホームページからダウンロードしてください。

《 参 考 》

総合型選抜試験「育成型」出願資格(抜粋)

■出願資格【専願制】 次の①～④すべてに該当する者

- ① 本学での勉学を強く希望し、入学を志す者で、合格した場合は必ず入学する者(専願制)

② 令和8年3月高等学校(中等教育学校含む)卒業見込みの者

③ 本学が指定する以下の育成プログラムを受講した者(複数の受講可)

育成プログラム:WC V、Web模擬授業、サマースクール(芸術学部のみ)

④ 受講した育成プログラムに基づくレポートを提出し、K S Uアドミッションオフィサーによる面談を受けた者

※詳細につきましては、本学ホームページ(入試情報)でご確認ください。

開催講座概要

講座名	平面構成（定員：25名）	担当	ビジュアルデザイン学科 イラストレーションデザイン専攻	石橋 佑一郎
■ 講座概要				
平面の基本は点・線・面です。点が移動すれば線となり、線が移動すると面になります。構成基礎（平面）の授業ではこれら3つの要素から「平面構成」を学びます。平面構成の勉強の目的は、豊かな発想力（アイデア）と美的感性（センス）を養うことです。発想力と美的感性は、デザイナーに最も重要な「創造力」を生み出すために、必要不可欠なものです。例えば、ものを創造するために道具や技術は必要ですが、それらが揃えば優れた作品ができるわけではありません。道具や技術は優れた作品を作るための必要条件であっても、十分条件とはなりません。「創造力」が備わってこそ、優れたデザイン作品となります。この授業で、構成に対する関心を深め美しい表現を追求し、今後の学習へと結びつけて下さい。				
■ 講座スケジュール				
8月4日(月)	授業の概要：授業内容・方法についての説明 平面構成について：発想の方法と複数のアイデアを提案する練習を行い、複数のアイデアから最も美しいデザインを選択し、平面構成作品を制作する。			
8月5日(火)	平面構成によるトートバックのビジュアル制作：1日目に制作した作品を用い、シルクスクリーン印刷でトートバックを制作する。 講評会：作品のイメージとコンセプトについて			
■ 受講上の注意		■ 持ってくるもの		
集中力をもって、与えられた時間を有効に使い学習して下さい。またシルクスクリーン印刷では、服が汚れる可能性があるため、エプロンやジャージ等の汚れても差し支えない作業着を用意して下さい。		鉛筆及び筆記用具一式、ノート、30cm以上の直定規、糊、カッター、ハサミ、エプロン等の作業着		

講座名		立体構成（定員:25名）	担当	生活環境デザイン学科 空間演出デザイン専攻	栗田 融
■ 講座概要					
我々は、様々なモノ（立体物）で構成されている場（空間）で過ごしています。それぞれのモノには形があり、ある材料でできています。そして、そのあり方によって気持ちを変化させたりしています。この講座では、材料や形が持つ特性、その大きさや配置による効果や影響などを体感的に知ることを目的とします。まずは試してみて、自分自身で確認し、造形の基礎力を身につける入り口としてください。					
■ 講座スケジュール					
8月4日(月)		授業内容についての説明の後、紙を使って様々な立体を制作し、素材の特性や形が与える印象について把握する練習を行います。次に、立体構成の課題に取り組み、試作しながら制作方針を決定します。			
8月5日(火)		前日の制作において発見した視点や反省すべき点を認識したうえで作品を完成させます。各人が作品の制作意図を発表する講評会を行います。			
■ 受講上の注意			■ 持ってくるもの		
受け身ではなく、能動的に受講してください。質問は随時受け付けますので、遠慮せず有効な時間にしてください。			鉛筆などの筆記用具、ノート（無地が望ましい）、定規・コンパス・カッター・ハサミ・糊などで使い慣れているもの。		

講座名	『私を探して』デジタルラボでフォトコラージュによる大判ポスターを作ってみよう。(定員:15名)	担当	ビジュアルデザイン学科 イラストレーションデザイン専攻	西川 洋一郎
■講座概要				
街中に貼ってある様々なポスターは、その主題に合わせて色々な工夫が施されています。それらは全てグラフィックデザイナーやイラストレーターが創意工夫し最大限の効果を期待し作り上げたものです。そんなデザイナーの仕事をコンピューターラボで体験してみましょう。 今回のテーマは『私をさがして』 皆さんが一番慣れ親しんだテーマ、つまり『私』を一枚のポスターで表現してみましょう。実際にプロが使うグラフィックソフトで制作し、大型プリンターでA1サイズにプリントします。使用する写真データはあらかじめ準備して来て下さい。幼い頃や現在の自分の写真、家族の写真、思い出や宝物、好きな物など自由な発想で。データはiPhoneまたはUSBメモリーなどで持参して下さい。				
■講座スケジュール				
8月4日(月)	1:Photoshopで印刷用データを作る			
8月5日(火)	2:データを完成させる 3:印刷 4:参加者プレゼンテーションおよび講評			
■受講上の注意		■持ってくるもの		
ラボ内は飲食禁止(給水用の飲料などは持参する事)		制作にしたい写真データ(自分撮り、思い出の写真、作品の写真など色々) データはiPhone、USBメモリー、Googleドライブなどの外部サーバーで準備。		

講座名	写真展を作るワークショップ (定員:10名)	担当	写真・映像メディア学科 写真専攻	大日方 欣一
■講座概要				
夏の一日を、写真で表現してみよう。デジタルカメラで身のまわりの世界を見つめ、撮影しよう。 撮った写真のデータをじっくり検討し、どんな眼差しがそこに現れているかを確かめよう。 写真をセレクトし、一組の作品にまとめよう。 本講座をつうじ、写真表現の面白さをたっぷり味わってください。				
■講座スケジュール				
8月4日(月)	ガイダンス。 大学付近でスナップ撮影。 パソコン室でデータチェック。 作品セレクト。			
8月5日(火)	前日の撮影データを検討。 プリント出力。 大学内のスペースで作品を展示。講評とまとめ。			
■受講上の注意		■持ってくるもの		
屋外で撮影をおこなうので、水分補給、帽子など、熱中症対策をしてください。		デジタルカメラ		

講座名	モーショングラフィックスを作ろう (定員:15名)	担当	写真・映像メディア学科 映像メディア専攻	佐藤 慈
■講座概要				
モーショングラフィックスとは、文字や図形などに動きを加えた映像表現のことです。視覚的なインパクトを高める効果があるため、広告、テレビやYouTubeのオープニング、ライブ演出、商品やサービスの説明動画、ミュージックビデオなど、さまざまな場面で活用されています。 本講座では、モーショングラフィックスの制作によく使われているソフトウェア「After Effects」の基本操作を学び、簡単なモーショングラフィックスの制作に取り組みます。				
■講座スケジュール				
8月4日(月)	・講座の説明 ・AfterEffectsの基本操作			
8月5日(火)	・モーショングラフィックスの制作 ・講評会			
■受講上の注意		■持ってくるもの		
特になし		筆記用具、USBメモリ(データ持ち帰り用)		

講座名	食品を美味しくそうに魅せる 食品容器の開発を体験しよう (定員:12名)	担当	生活環境デザイン学科 生産造形デザイン専攻	佐藤 昭則
■講座概要				
コンビニやスーパーなどで売られているお弁当容器やお菓子のパッケージなどは、最低限の資源を有効に使い、容器の製造のための制約などを考慮しつつ、持ち運びを容易にしたり、食品を美味しくそうに見せることなどを目的とし、また、内容物を守る梱包材としての役割、製品のイメージを作る広告塔としての機能も持ち合わせています。量産容器の生産には、材料の特性と加工法を考慮する必要もあります。 本講義では、食品容器の開発を想定した作業を通して、プロダクト製品開発の手順を体験します。制作した食品運搬容器は、実際に使って試すことができるレベルのものであることを目標とします。本授業では、紙容器とプラスチック成形の技術に触れます。デザインの過程を体験して立体製品の開発の奥深さも知ってください。				
■講座スケジュール				
8月4日(月)	授業の概要:授業内容・方法についての説明 アイデア検討、試作検討			
8月5日(火)	制作作業 講評会			
■受講上の注意		■持ってくるもの		
集中して制作を進めてください。		筆記用具		

